

「5月下旬～6月の花」 Hana

『のぞみ』というバラの物語です

作出年：1968年(昭和43年) 作出者：小野寺 透(1913～2002) さいたま市生まれ 理学博士(埼玉大)

花：直径2cm位 白に淡いピンクの一重咲き 日本では6月頃 ヨーロッパでは6月～11月まで咲きます。

このバラは現在ヨーロッパから世界のバラ公園でグランドカバーとして植えられて日本作出バラのなかでは世界的に著名なバラです。

〈バラになった少女〉小野寺 透先生がある機関紙にのせられたお話しです。

先生の姉が牧師と結婚し、南方の激戦地ガダルカナルへ出征しました。その時、生まれてくる子供に“のぞみ”と名付けていました。ガダルカナルでは兵隊たちと同じく牧師もほとんど死亡。同様に倒れていました。牧師になるため、アメリカに留学していたのでアメリカ兵の話しがわかり助けられ、その後通訳として無事帰国しました。

その間、牧師の実家が満州にあり渡っていた妻は終戦後、ソ連軍侵入で女ばかりの一家は生活が苦しくなるなか、祖母が亡くなり、次いで母も亡くなり次々に家族が死亡し、“のぞみ”は一人ぼっちになって教会関係者の人々に助けられ暮らしていました。

やがて帰国の順番が来て、三歳の“のぞみ”は一人で帰国列車に乗り長い汽車の旅を続けて、日本に着きやっと思いは東京に着く予定が列車編成の都合で一日延びました。この延びた一日が幼い女の子に限りない悲劇となったのです。

東京品川に着く2時間前に“のぞみ”は列車のなかで息を引きとってしまいました。

父親は品川駅に生まれてはじめての我が子を迎えに行き、未だ温もりの残っている我が子“のぞみ”を抱きました。

この話をバラに移して、小野寺 透先生は1968年(昭和43年)頃から実生花を作り始め・・・

最初の作出花に『のぞみ』と名付けました。

パソコンにより違いますので、写真が6枚みえない時には、上の欄にある⊕拡大を押してください。

これが『のぞみ』というバラです！

私の大好きなバラに、こんな物語があるとは…
みなさまのお庭にも咲いているのではありませんか？



ラベンダー 北海道富良野は有名ですね

すがすがしい甘い香りと美しい花色で楽しませて
くれる魅力のハーブであり「癒し」をかんじますね



アジサイ “ダンスパーティー”

原種は日本に自生するガクアジサイです
アジサイはアジサイ属植物の一部の総称です！
酸性土壌には青色の花 アルカリ性土壌には赤い花が咲きます



箱根空木(ハコネウツギ)

白→ピンク→ 赤色に変化します
ウツギの種類…梅花ウツギ、ノリウツギ、タニウツギ、
ヒメウツギ、ウツギ(プリンセス)などあります



千葉公園の大賀ハス

1951年(昭和26年)大賀一郎博士により
現、東京大学総合運動場の地下6mの青泥層から
古蓮実を発掘しました！ 「千葉市の花」です



花菖蒲(ハナショウブ) 香澄公園

500年位の栽培の歴史があります！
江戸系・肥後系・伊勢系の3つに大きく分かります
(その他に、長井古種とアメリカ系があります)



主人はあまり外出できない私のために撮ってきたお花をパソコンに入れてくれますのでそのお花たちを載せました。
好きなバラを載せたくて、のぞみと知り調べると物語があり驚きました。忘れることのできないお花になりました。